

稲作情報

みやぎ仙南農業協同組合
米穀課 0224-55-1590

令和6年8月1日

生育調査結果(7月19日現在)

※大河原農業改良普及センター調べ

- ◎高温により稲の生育が進んでおり、出穂期は平年よりかなり早くなっています。
(南部平坦は7月20日頃から出穂)
- ◎開花期以降の水管理は、白未熟粒の発生を抑えるため「飽水管理」としましょう。
- ◎斑点米カメムシが多発しています。適期防除を徹底しましょう。

No	ほ場所在地	地帯区分	品種	田植		草丈			茎数			葉数			葉色			幼穂長		
				本年	前年	(cm)	平年比	前年比	(本/m)	平年比	前年比	(枚)	平年差	前年差	(GM)	平年差	前年差	(mm)	平年差	前年差
1	角田市	南部平坦	ひとめぼれ	5/12	5/11	81.7	106%	94%	363	85%	91%	13.6	+0.9	+0.8	36.5	-0.5	+1.9	193.4	+86.3	+0.2
2	白石市	西部丘陵	ひとめぼれ※	5/18	5/18	83.0	124%	115%	351	91%	83%	12.0	+0.2	-0.9	43.4	+4.7	+6.6	155.6	+111.7	+75.1
「ひとめぼれ」平均				5/15	5/14	82.4	115%	105%	357	88%	87%	12.8	+0.6	-0.1	40.0	+2.1	+4.3	174.5	+99.0	+37.7
3	角田市	南部平坦	つや姫※	5/24	5/24	73.5	100%	93%	299	64%	75%	10.5	-1.0	-1.7	43.2	+0.7	+1.9	3.3	+0.4	+0.6
4	村田町	南部平坦	つや姫※	5/4	5/2	77.2	102%	101%	428	100%	88%	11.8	-0.4	-0.8	36.2	-0.8	+1.2	135.4	+106.8	+77.3
5	七ヶ宿町	山間高冷	やまのしずく	5/27	5/25	72.9	112%	108%	406	77%	91%	未調査	-	-	46.7	+5.0	+7.4	33.3	+14.5	-1.1

◆平年値は前5か年(R元~R5)の平均値

- ※白石市「ひとめぼれ」及び七ヶ宿町「やまのしずく」は今年度から調査ほ場を変更しているため、平年比・差や前年比・差は参考。
- ※R4年度の角田市「つや姫」は葉身が細く、葉色を計測できなかったため、平年値から除外している。
- ※村田町「つや姫」は調査5年目のため過去4年の平均値を平年値とした。
- ※七ヶ宿町「やまのしずく」のみ、7月18日に調査を実施している。

【7月19日調査結果】

- ・南部平坦の「ひとめぼれ」生育調査ほは、幼穂長が昨年とほぼ同等の約193mmで「穂ばらみ期」を迎え、7月22日頃に出穂期になる見込みです。
- ・南部平坦の「つや姫」調査ほは、5月上旬植えは幼穂長が約135mmで、既に「減数分裂期」を過ぎています。5月下旬植えは、幼穂長が約3.3mmで「幼穂形成期」を過ぎています。
- ・西部丘陵の「ひとめぼれ」は、幼穂長が約156mmで、既に「減数分裂期」を過ぎています。
- ・山間高冷の「やまのしずく」は、幼穂長が約33mmで、「減数分裂期」に入っています。

★今後の水管理の目安★

7月	8月			9月	
下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬

生育
ステージ

出穂期

登熟期

成熟期

水管理

浅水

飽水管理

落水
(出穂後30日)

※高温による品質低下を防ぐため飽水管理を推奨しています。

白未熟粒の軽減、根の活力維持

落水の目安

- ・玄米の発達は出穂開花後25日以降まで続きます。
- ・早期落水は、整粒歩合を低下させる要因となりますので、落水は出穂後30日を目安に行うようにしましょう。



刈取り時期は、出穂期からの日数ではなく、日平均気温の積算温度で判断しましょう！

刈取り適期について

品種名	出穂期からの積算温度	品種名	出穂期からの積算温度
ひとめぼれ	940~1,050℃	コシヒカリ・つや姫	1,000~1,150℃
ササニシキ	960~1,050℃	だて正夢	1,020~1,060℃
まなむすめ	940~1,050℃	みやこがねもち	950~1,050℃

斑点米カメムシ防除



斑点米カメムシが多発しています！！

- ・薬剤防除は穂揃期とその7~10日後の2回防除を徹底しましょう。

※こだわり米は1回のみ薬剤防除となりますので適期を逃さず防除しましょう（下記参照）。

対象	薬剤名	使用量/10a	使用時期	備考
カメムシ類	キラップ粉剤DL	3~4kg	穂揃期~5日後	いずれか1剤選択(1回)
	キラップフロアブル	1,000~2,000倍		
	キラップ粒剤	3kg	出穂7日前~出穂期	

主な斑点米カメムシ類の種類

※宮城県ホームページより引用

カスミカメムシ類

アカスジカスミカメ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	フタトゲムギカスミカメ
 <p>体長4.6~6mm 宮城県の斑点米カメムシ類の最重要種 体色はやや光沢がある黄緑色 前翅会合部に橙赤色の太い縦条をもち、触角と腿節も赤い</p>	 <p>体長4.5~6.4mm 体型は細長い 体色は淡緑色で触角は赤色</p>	 <p>体長6.8~8mm 体色は緑色の個体と淡褐色の個体がいる 後腿節先端付近に大小2本のトゲをもつ</p>

その他の斑点米カメムシ類

クモヘリカメムシ	ホソハリカメムシ
 <p>体長15~17mm 体型は大型で細身 体色は緑色だが、死後は黄褐色に変色する 宮城県では主に県南部に分布するが、令和2年に県北東部でも確認された。</p>	 <p>体長9~11mm 体色は黄褐色 前胸背の両角は側方に突出し、針状にとがる</p>

※JA米出荷者へお知らせ※

米の後期栽培記録簿の提出期日は8月15日(木)となっていますので、必要事項を記入の上、必ずご提出頂きますようお願い致します。